

注 意 報

平成16年8月27日
長崎県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予察 注意報第7号

普通期水稻 穂吸汁性カメムシ類

1. 発生地域（対象地域） 県下全域
2. 発生程度 多
3. 注意報発令の根拠
 - 1) 8月下旬の巡回調査の結果、本田における20回すくい取り虫数は0.8頭(平年0.3頭)、発生圃場数は44筆中19筆であった(発生圃場率 43.2%、平年16.0%)。
 - 2) 8月下旬の雑草地におけるすくい取り調査の結果、10回すくい取り虫数は18.2頭(平年7.7頭)と平年より多い。特にアカスジカスミカメの発生が多い。
4. 防除上注意すべき事項
 - 1) 穂揃い期とその後7～10日目に薬剤散布する。その後も発生が多い場合には追加防除を行う。
 - 2) 休耕田等の雑草地も含めた広域一斉防除の効果が高い。
 - 3) 本田へのカメムシ類の飛来を助長するので出穂期以降の畦畔等の除草は行わない。
 - 4) 薬剤散布に際しては農薬の使用基準を守る。